

ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

NO.1196

18.4.10

季節の移り変わりに驚いた

あつという間に桜が散って、季節の移り変わりに驚いた一方で、先週は寒さがぶり返し再びストーブのお世話になりました。へんな気候に風邪を引いた人もいます。みなさんも注意です。

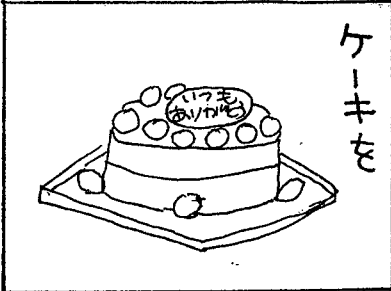
災害時の備蓄品について

2月定例会議で、食料・飲料水などの備蓄の計画と現状の数値を聞きました。市の救急指定(保健)センターは地域防衛圏(東海・東南海・南海)と連帯避難所避難者数(8000人)を想定し、1日分の食料を備蓄しています。基本的な考え方として、県と市と市用がそれぞれ1日分の食料と飲料水と1リットルの飲料水(準備して3日間)の食料と飲料水(準備して3日間)の外から支援が届くことを考えます。

フワフワの人々



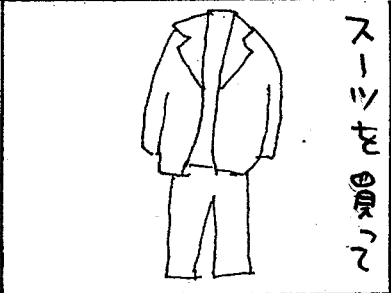
ケーキを



いただきます



スーツを買って



いただきました。



備蓄品(食料・飲料水)

品目	今年度		目標値
	購入数 (更新分)	累計	
アルファ化米	10,000 (9,350)	54,150	106,000食
乾パン	32,924 (4,912)	76,098	
飲料水	63,312 (19,988)	177,264	176,600本

(注)アルファ化米(全体の5%)含む。

食料・水以外の備蓄品

簡易トイレ	400基
トイレ処理セット	78,920回分
毛布・アルミ寝袋	24,000枚
ブルーシート	17,003枚
粉ミルク(一般用)	132缶
粉ミルク(アルファ用)	12缶

食料と食分と水とを各人で

地震などの災害(はい)に備えるため、少なくとも1日分の食料と飲料水の備蓄は各自がそれぞれ用意するようお願いいたします。

今週のフワフワの人々

(その142)

誕生日プレゼント

先週、市議団の会議があった4月3日の昼休みのこと。みなさんより先に食べ終えてちょっと席をはずして控室に帰ってくるとホールケーキが用意されていました。「きょうは誕生日だよ」と私のために用意されたものでした。自分の誕生日ケーキっていつか来やらか...思い浮かびません。大きめに切り分けてもらった誕生日ケーキをいしくいただきました。



ひめだ高松

和歌山市政学習・懇談会

4月9日(月)夜、市教育会館で市つくる会と市大運動実行委員会が市政学習・懇談会を開きました。

最初に日本共産党の森下さち子市議が市政報告。森下市議は、アベノミクスがもたらしたものは富の集中であり、所得格差は広がり、勤労者や年金生活者の生活は困難になっていると切り出し、尾花市政は市民の暮

らしたを守る防波堤となっていないかと、介護保険・国保・年金・生活保護・滞納者への取り立て強化・就労援助・不公平、不公正な市政運営は旧同和事業継続など市政の問題点を指摘。国の地方創生計画と市の計画である中心市街地再開発、コンパクトシティ、カジノ誘致の問題点を示し、職員削減、民間委託、指定管理の

現状を告発しました。参加者からは、港町の産廃処分場の本申請が出されたこと、小・中学校のエアコンの暖房が当初考えられなかったこと、学力テストや教職員の勤務の問題などが紹介されました。そのほか、国保料引き下げの運動や国保料滞納での差し押さえ、障害者の生活支援、子どもへの貧困、学童保育の充実の要望、新市民図書館の指定管理やマリーナシティ

へのカジノ誘致の動向などが出されました。何人もの方が、それぞれ

市から次々届く計画書

行政経営課から行財政改革実施計画取組結果報告書(14~16年度)、行財政改革実施計画(17~21年度)、国保年金課から第2期データヘルズ計画、第3期特定健康診査等実施計画(いずれも18~23年度)、介護保険課から第1期高齢者福祉

「和歌山市は他市に比べて市民に冷たい」と言ったのが、胸に響きました。

計画及び介護保険事業計画(18~20年度)、障害者支援課から第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画(18~20年度)。上記の冊子は10日(土)に届いたもので、まだ読んでいません。興味のある方は、ひめだまでご連絡を。

いんげんは

松坂みち子が

いりません！

それにしても出てくる出てくる...お困りならありがたいのですが、隠していた文書のことです。腹も立ちますが、あきらめてしまします。

財務省は改ざんした文書を国会に提出、防衛省はな

いと云っていた日報が実はあった、しかも1年以上も前に見つかっていた、厚生労働省は政府に都合のいいようにデータをねつ造。文科省は中学校の授業の内容に口を出す。これほど、国会・国民をバカにし憲法をないがしろにした政

権があったのでしょうか。

「あきらめてものが言えない」と言っている人はいません。今はき、ちり、「こんな政権いりません！」と、ものをいう時です。いんげん一緒に。



松坂みち子 (衆議院選定候補)

向山文夫さんのいん



日本共産党宮前支部の向山文夫さんが4月9日(土)かなりになりました。向山さんは私、ひめだの最初の選挙のときからお知り合いの民権の会員さんなどのお宅に連れて行ってくださったり、小集会を開くなど応援してくれました。向山さんは手平の生活相談所の大家さんです。共産党が市議としてい

相談所を開くことを決めた。気軽に貸してくれたのが向山さんで2009年に開設。その後、お会いするたびに「相談所は使えているか」と心配してくれました。若い時に結核で入院、そこで知り合った看護師さんと結婚したと、ロマンチックな話も聞きました。ありがたうございました。